２０２３年度　シ ラ バ ス（２年）

学校法人　　平松学園
大 分 歯 科 専 門 学 校

５２期生 No.　　氏名

目　　次

	授業科目	ページ
2年次前期	口腔衛生学2	1
	保存修復	2―3
	歯内療法学	4―5
	歯周療法学	6
	歯科補綴学	7―8
	歯科放射線学	9
	臨床検査法	10
	介護概論・介護技術	11
	隣接医学	12
	歯周病予防処置3	13
	う蝕予防処置	14
	歯科保健指導2	15
	歯科診療補助（共同動作）	16
	臨床実習2	17
	健康教育活動2	18
2年次後期	衛生統計学	19
	衛生学・公衆衛生学	20―22
	社会福祉概論・衛生行政	23―24
	口腔外科学・歯科麻酔学	25―26
	小児歯科学	27―28
	歯科矯正学	29
	高齢者・障害者歯科学	30
	先端医療	31-32
	医療事務	33
	摂食嚥下機能の評価と訓練	34
	多職種連携	35
	歯科予防処置実習	36
	歯科保健指導3	37
	栄養・食生活	38
	歯科診療補助実習	39
	臨地実習2	40

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年前期	専門分野	必須	２単位３０時間	授業方法（講義）
科目名	口腔衛生学２				
担当教員	小西　敦子 本校歯科診療所歯科医師として歯科医療に従事した。 現在、大分歯科専門学校の兼任教員				
授業概要	テキストを用いて歯・口腔の健康に関わる社会の仕組みを理解し、歯科疾患の予防能力を高める態度を養うために、歯・口腔の健康と予防に関する基本的知識を学びます。				
到達目標	１）　口腔の健康の定義を説明できる。 ２）　口腔と全身の健康との関係について説明できる ３）　う蝕・歯周疾患・その他の歯科疾患の疫学的特性を概説できる ４）　う蝕・歯周疾患・その他の歯科疾患の予防を説明できる ５）　う蝕・歯周疾患・口腔清掃状態の指数を説明できる。 ６）　地域歯科保健の現状について理解できる				

授業計画			
授業計画	1）	／	歯科疾患の指数　　う蝕の指数
	2）	／	歯周疾患の指数
	3）	／	歯周疾患の指数
	4）	／	口腔清掃状態の指数
	5）	／	口腔清掃状態の指数
	6）	／	Ⅲ編地域保健　　地域歯科保健 母子保健　　目的・意義　妊産婦の歯科健康診査と歯科保健指導
	7）	／	1歳6か月児健康診査　3歳児健康診査　う蝕罹患型と歯科保健指導
	8）	／	前期中間試験
	9）	／	学校保健　意義および概要　学校保健の活動と組織
	10)	／	学校歯科保健
	11)	／	産業保健　目的と特徴　職業性疾病　職業性歯科疾患
	12)	／	産業保健管理　　産業保健活動　　職域での歯科保健
	13)	／	災害時の歯科保健　　大規模災害時の保健医療対策 被災地での歯科保健活動　　歯科的個人識別
	14)	／	国際保健　　開発途上国における健康問題　　国際協力 口腔保健の状況　　口腔保健戦略と目標
	15)	／	健康づくり対策と地域歯科保健
	16)	／	後期期末試験

成績評価の方法	定期試験の成績で評価。 なお、定期試験は筆記試験を行い、１００点満点の６０点以上を合格とする。
テキスト	最新歯科衛生士教本：歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み１保健生態学 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み３歯科衛生統計 全国歯科衛生士教育協議会　監修
参考図書	
その他	

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　前期	専門分野	必須	１単位２０時間	授業方法（講義）
科目名	保存修復学				
担当教員	野田　壇（実務経験者） 歯科医院を開業し、院長として歯科医療に従事。				
授業概要	歯科衛生業務を行うために必要な歯に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を学びます。				
到達目標	1)　歯の硬組織疾患の種類、原因、予防法、処置法を説明できる。 2)　窩洞の構成と名称、分類と窩洞形態の原則を説明できる。 3)　う蝕治療の流れ、修復法の種類、使用器材の種類と特徴を説明できる。 4)　歯の変色の原因と処置法、知覚過敏の症状・原因・処置法を説明できる。 5)　Minimasl Intervention　Dentistry　の意義を説明できる。 6)　修復処置後の深い事項とメインテナンスを説明できる。				

授業計画			
	1)	／	歯の保存療法の種類　　口腔検査 ・現症の検査の種類と使用器材
	2)	／	歯の硬組織疾患の種類と病態　窩洞と保存修復治療（窩洞の構成、分類） ・う蝕（う蝕円錐）　　・磨耗症　・咬耗症　・酸蝕症 ・う蝕の病態（三大好発部位、う蝕の分類） ・窩洞の構造（窩壁、窩縁、隅角） ・窩洞の分類（ブラックの窩洞分類）　・窩洞条件
	3)	／	保存修復治療の概要（診療の各ステップ）　　保存修復治療の準備 ・診療の各ステップ ・保存修復治療の準備（局所麻酔、歯間分離、歯肉圧排、防湿法、隔壁法） 歯の切削、窩洞形成 ・手用切削器具と回転切削器具 ・レーザー 歯髄の保護　　保存修復法の種類 ・歯髄保護（覆髄・裏層（ライニング・ベース）・IPC法） ・保存修復の種類 （直接金修復、成形修復（レジン、セメント、アマルガム）インレー（アンレー）修復 ホワイトニング
	4)	／	直接修復法①（コンポジットレジンの種類、接着の基礎、器材、手順） ・コンポジットレジンの組成（マトリックスレジン、フィラー、重合開始剤・促進剤） ・コンポジットレジンの種類（フィラー、重合方式、稠度による分類） ・歯質接着の基礎（エッチング、プライミング、ボンディング、接着システム）
	5)	／	直接修復法②（コンポジットレジンの種類、接着の基礎、器材、手順） ・コンポジットレジン修復に必要な器材 ・光重合コンポジットレジン修復の特徴・適応症・重合特性 ・光重合コンポジットレジン修復の手順
	6)	/	定期試験

	7)	／	直接法修復③（グラスアイオノマーセメント修復他） ・グラスアイオノマー修復の特徴 ・グラスアイオノマー修復の適応症と禁忌症 ・グラスアイオノマー修復の手順
	8)	／	間接法修復①　　インレーおよびアンレー修復 ・インレーの分類（メタルインレー、レジンインレー、セラミックインレー） ・メタルインレー修復の特徴と手順（鋳造）
	9）	／	間接法修復②　　セラミックインレー、レジンインレー ・セラミックインレーの特徴、適応症、種類、手順 ・コンポジットレジンインレーの特徴、適応症
	10)	／	間接法修復③　　ラミネートベニア修復、合着材・接着剤 ・ラミネートベニア修復の適応症と禁忌症、手順 ・合着材、接着剤 （リン酸亜鉛セメント、ポリカルボキシレートセメントグラスアイオノマーセメント、レジンセメント）
	11)	／	定期試験
成績評価の方法	定期試験（中間試験・期末試験）の成績で評価。 なお、定期試験は筆記試験を行い、１００点満点の６０点以上を合格とする。		
テキスト	最新歯科衛生士教本　保存修復・歯内療法　医歯薬出版株式会社		
参考図書	病理学　全国歯科衛生士教育協議会編集　医歯薬出版株式会社		
その他			

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　前期	専門分野	必須	１単位２０時間	授業方法（講義）
科目名	歯内療法学				
担当教員	佐藤　誠宏（実務経験者） 歯科医院院長 現在、大分歯科専門学校兼任教員				
授業概要	歯科衛生業務を行うために必要な歯（歯髄、根尖部歯周組織）に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を学びます。				
到達目標	１）　歯髄・根尖性歯周組織疾患の分類と原因、処置法を説明できる。 ２）　歯髄の保存療法（覆髄法）の種類、適応症、手順、予後を説明できる。 ３）　歯髄の除去療法の種類、適応症、手順、予後を説明できる。 ４）　根管治療、根管充填に用いる器材、手順を説明できる。 ５）　根未完成歯、外傷歯の処置法を説明できる ６）　外科的歯内療法の種類、適応症および処置法を説明できる。				

１）	／	歯内療法とは　　歯内療法領域の主な疾患の概要と原因 ・象牙質知覚過敏症（原因・症状） ・歯髄炎（原因） ・根尖性歯周炎（原因）
２）	／	歯髄疾患・根尖性歯周組織疾患の分類と症状 ・歯髄疾患（分類・症状） ・根尖性歯周組織疾患（分類・症状）
３）	／	歯髄・根尖性歯周組織疾患の処置 ・１）歯髄疾患の処置方針 ・２）根尖性歯周組織疾患の処置方針 ・３）根尖性歯周組織疾患の治療の概要 ・４）歯内療法特有の検査と診断
４）	／	歯髄の保存療法① ・歯髄鎮静消炎療法（概要・適応症・術式） ・歯髄鎮静消炎療法薬
５）	／	歯髄の保存療法② ・覆髄法①（間接歯髄覆罩法）：適応症、使用薬剤、術式 ・覆髄法②（直接歯髄覆罩法）：適応症、使用薬剤、術式 ・覆髄法③（暫間的間接歯髄覆罩法＝IPC法）：適応症、使用薬剤、術式
６）	／	定期試験
７）	／	歯髄の除去療法 ・生活断髄法（生活歯髄切断法） 適応症・禁忌症・使用薬剤・術式・予後判定 ・抜髄法（直接抜髄法＝麻酔抜髄法） 適応症・禁忌症・使用薬剤・術式・治癒機転

授業計画	8）	／	根管治療 術式髄（室開拡、根管口漏斗状拡大、根管長測定、根管拡大形成、 根管清掃薬、根管消毒薬、仮封） 根管充填 ・根管の細菌の検査 ・根管充填 （目的・時期・根管充填材の所要性質・種類・根管充填用器具）
	9）	／	根未完成歯に対する処置（適応症、使用薬剤、予後） ・アペキソゲネーシス ・アペキシフィケーション 外科的歯内療法の適応症と術式 ・膿瘍切開 ・根尖掻爬法 ・根尖切除法 ・歯根切断法 ・歯根分離法（ルートセパレーション） ・ヘミセクション ・歯の再植法 ・歯の移植法
	10）	／	歯の外傷の分類と処置 ・破折性外傷 ・脱臼性外傷（保存液） 歯内療法の安全対策と歯科衛生士の役割 ・歯内療法器具の根管内破折 ・根管壁穿孔 ・皮下気腫 ・誤嚥と気管内吸引 ・薬剤による皮膚・衣服汚染の対処法
	11）	／	定期試験
成績評価の方法	定期試験（中間試験・期末試験）の成績で評価。 なお、定期試験は筆記試験を行い、１００点満点の６０点以上を合格とする。		
テキスト	最新歯科衛生士教本　保存修復・歯内療法　：医歯薬出版株式会社		
参考図書	必要に応じて病理学教本を使用		
その他			

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　前期	専門分野	必須	１単位３０時間	授業方法（講義）
科目名	歯周療法学				
担当教員	松本　晃治（実務経験者） 歯科医院を開業し、院長として歯科医療に従事。				
授業概要	歯科衛生業務を行うために必要な歯周組織に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を学びます				
到達目標	１）　歯周病の種類と症状を説明できる ２）　歯周治療の流れ検査、検査結果を説明できる ３）　歯周外科治療の種類と適応症を説明できる ４）　歯周治療後の再評価ができる ５）　歯周病後のメインテナンスを説明できる				
授業計画	１）　／　歯周疾患とは				
	２）　／　正常な歯周組織の構造と機能				
	３）　／　歯周疾患　基礎　組織（歯周組織とは　歯肉炎・歯周炎の特徴）				
	４）　／　基礎　病因論（歯周炎の分類）				
	５）　／　診査・診断（歯周治療の流れ・歯周基本検査）				
	６）　／　歯周基本治療の概要				
	７）　／　歯周基本治療（スケーリング・ルートプレーニング）				
	８）　／　前期中間試験				
	９）　／　ＳＲＰのポジショニングペリオドンタルメディシン				
	10）　／　歯周外科①（基本事項・器材）				
	11）　／　歯周外科②（各種術式：ポケット掻把、新付着術、歯肉切除術、Ｆｏｐ）				
	12）　／　歯周外科③（再生療法）				
	13）　／　歯周外科④（根尖側移動術、歯周形成外科、分岐部病変への対応、歯内・歯周病変への対応）				
	14）　／　口腔機能の回復（咬合調整・矯正治療・固定）				
	15）　／　インプラント・メインテナンス・ＳＰＴ				
	16）　／　前期期末試験				
成績評価の方法	定期試験の成績で評価。 なお、定期試験は筆記試験を行い、１００点満点の６０点以上を合格とする。				
テキスト	最新歯科衛生士教本　歯周治療　：全国歯科衛生士教育協議会監修　医歯薬出版				
参考図書					
その他	歯科衛生士の業務については、予防処置、保健指導、歯科診療補助と連動して行う。				

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　前期	専門分野	必須	２単位３０時間	授業方法（講義）
科目名	歯科補綴学				
担当教員	福　原　　彰（実務経験者） 歯科診療所院長として歯科医療に従事　　現在、大分歯科専門学校の兼任教員				
授業概要	テキストを用い、歯科衛生業務を行うために必要な歯質欠損に対する歯冠修復と歯列の　一部、あるいは　全部の歯の欠損に対する咬合回復の治療法を学びます。				
到達目標	１）　補綴歯科治療の目的、欠損に伴う生理的変化、補綴装置の種類と特徴を概説できる。 ２）　咬合と歯列期関する用語、基準平面、口腔・顎関節の機能と特徴を説明できる。 ３）　補綴歯科治療における検査の種類・特徴を説明できる。 ４）　クラウン・ブリッジ・有床義歯の種類、特徴、治療の流れ、器材の準備、患者への説明等が実施できる ５）　特殊な口腔内装置の特徴を概説できる。				

授業計画			
	１）	／	Ⅰ編　補綴歯科治療の基礎 **歯科補綴の概要** ①補綴歯科治療の意義と目的 ②歯の欠損に伴う生理的変化
	２）	／	③補綴歯科治療の方法と補綴装置 ・クラウン（部分被覆冠・全部被覆冠） ・ブリッジ（構成・分類、特徴） ・全部床義歯（構成・分類） ・部分床義歯（構成・分類） ・インプラント（構成・分類、特徴）
	３）	／	**補綴歯科治療の基礎知識** ①歯列と咬合 （歯列弓・咬合彎曲（スピー、ウェルソン、モンソン）・咬合平面・顎運動と咬合様式） ②補綴学的基準平面 （カンペル平面、フランクフルト平面、仮想咬合平面） ③口腔の機能 （咀嚼、嚥下、発声、構音、その他の口腔機能） ④顎関節の構造・機能と病態 （顎関節の構造、機能・顎関節症）
	４）	／	Ⅱ編　補綴歯科治療の実際と歯科衛生士の役割 **補綴歯科治療における検査** 咬合と顎口腔機能の検査 （フェイスボウトランスファー、咬合器上での模型検査、咬合圧検査、咬合接触検査 咀嚼能力検査、筋・顎関節の触診、筋電図検査関節雑音検査、開口量検査、 下顎運動検査（パントグラフなど）、マイオモニターによる下顎位検査 舌圧検査、歯冠色調採得検査、触覚機能検査、ゴシックアーチによる顎運動検査、 チェックバイト、パントグラム、口腔内スキャナー検査）

授業計画	5）	／	クラウン・ブリッジ治療 クラウン・ブリッジ治療の概要 クラウン治療の概要 ブリッジの治療の概要 ＣＡＤ/ＣＡＭクラウン・ブリッジの治療の概要
	6）	／	クラウン・ブリッジ治療の流れと診療の補助 クラウン・ブリッジ治療（支台築造・プロビジョナルレストレーション） ＣＡＤ/ＣＡＭクラウン・ブリッジ治療 クラウン・ブリッジ治療に伴うトラブルとその対応 （支台歯・クラウンやブリッジ・修復と除去・誤飲、誤嚥・金属アレルギー）
	7）	／	有床義歯治療 １）全部床義歯治療の概要（分類・構成要素） ２）全部床義歯治療の診療補助①（治療の流れ：概形印象～人工歯選択）
	8）	／	前期中間試験
	9）	／	２）全部床義歯治療の診療補助② （治療の流れ：ゴシックアーチ～装着後の調整）
	10）	／	３）全部床義歯治療に伴うトラブルとその対応
	11）	／	４）部分床義歯治療の概要（分類・構成要素）
	12）	／	５）部分床義歯治療の流れと診療の補助 （概形印象～装着後の調整）
	13）	／	６）部分床義歯治療に伴うトラブルとその対応
	14）	／	特殊な口腔内装置を用いる治療
	15）	／	補綴歯科治療における器材の管理
	16）	／	前期期末試験
成績評価の方法	定期試験の成績で評価。 なお、定期試験は筆記試験を行い、１００点満点の６０点以上を合格とする。		
テキスト	最新　咀嚼障害・咬合異常１歯科補綴　全国歯科衛生士教育協議会医歯薬出版		
参考図書			
その他			

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　前期	専門分野	必須	１単位１５時間	授業方法（講義）
科目名	歯科放射線				
担当教員	大谷　俊輔　（実務経験者） 歯科診療所院長として歯科医療に従事。現在、大分歯科専門学校の兼任教員および臨床実習医院指導教員。				
授業概要	歯科疾患の診断および歯科衛生業務の実施に必要な画像検査の意義と種類・方法などを学びます。				
到達目標	１）　放射線の生物学的影響を理解し、放射線防護を概説できる。 ２）　エックス線画像の形成原理を概説できる。 ３）　頭部エックス線撮影・パノラマエックス線撮影の種類、適応、手技を概説できる。 ４）　口内法エックス線撮影の種類と適応、手技を説明できる ５）　う蝕、歯周病、顎骨に生じる病変のエックス線所見を概説できる。 ６）　超音波検査、CT、MRIの原理と特徴を概説できる。 ７）　嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査の所見を概説できる。				
授業計画	１）	／	歯科医療と放射線　エックス線画像の形成		
	２）	／	歯科におけるＸ線検査：パノラマエックス線・頭部規格撮影・その他の画像検査法		
	３）	／	パノラマエックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割		
	４）	／	口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割 口内法のエックス線の準備・フィルムとヘッドの位置づけ		
	５）	／	口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割 配慮が必要な患者のエックス線撮影・感染予防・口内法エックス線写真のみかた		
	６）	／	口腔内法エックス線撮影実習		
	７）	／	写真処理と画像保管の実際・放射線治療と口腔管理		
	８）	／	前期試験		
成績評価の方法	定期試験の成績で評価。 なお、定期試験は筆記試験を行い、１００点満点の６０点以上を合格とする。				
テキスト	最新歯科衛生士教本　歯科放射線　：医歯薬出版株式会社				
参考図書	最新歯科衛生士教本　歯科診療補助				
その他					

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　前期	専門分野	必須	１単位１５時間	授業方法（講義）
科目名	臨床検査法				
担当教員	平井　英治　（実務経験者） 大分赤十字病院　勤務　現在に至る 現在、大分歯科専門学校の兼任教員および臨床実習医院指導教員				
授業概要	歯科疾患の診断および歯科衛生士業務の実施に必要な基本的検査および全身の一般検査の意義と関連を学びます				
到達目標	１）　一般臨床検査の種類と目的を説明できる ２）　検査の倫理と安全性を説明できる ３）　検査値の評価の重要性を説明できる				
授業計画	１）　／　臨床検査とは（検査の必要性と種類-生体・検体・画像、検査成績の読み方）				
	２）　／　生体(生理機能)検査１―　体温・脈拍・血圧 ・測定の意義と測定方法、左右する因子（測定実習を含む）				
	３）　／　生体(生理機能)検査２―心機能・肺機能・筋電図・脳波・血中酸素濃度 ・検査の意義と測定方法（心機能・肺機能）、データの診かた(心電図・血中酸素濃度）　血中酸素濃度（実習）				
	４）　／　検体検査１― 血液を用いる検査（血液の成分の確認含む） ① 血液検査―　・赤血球の検査（検査の種類と目的、数値の診かた） ・白血球の検査（検査の種類と目的、数値の診かた） ・血小板の検査（検査の種類と目的、数値の診かた）				
	５）　／　検体検査１― 血液を用いる検査 **②血液凝固･線溶性検査―・出血性素因と止血のしくみ　ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ検査の種類** **③生化学検査― 生化学検査とは** **･肝機能、腎機能、糖代謝の検査とデータの診かた**				
	６）　／　検体検査１― 血液を用いる検査 ④ 免疫・血清検査― 炎症、ウイルス感染症、アレルギーの検査 ⑤ 血液型検査― AOB式.Rh式血液検査 ⑥ その他の検査　感染症(細菌)検査 ⑦口腔領域の臨床検査－口臭検査など				
	７）　／　実習１　血液型検査・出血性素因の検査、血球の観察、 尿スクリーニング検査、				
	８）　／　前期試験				
成績評価の方法	定期試験の成績で評価。 なお、定期試験は筆記試験を行い、１００点満点の６０点以上を合格とする。				
テキスト	最新歯科衛生士教本　臨床検査法　医歯薬出版株式会社				
参考図書					
その他					

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　前期	専門分野	必須	１単位１５時間	授業方法（講義）
科目名	介護概論・介護技術				
担当教員	遠藤 一祐				
授業概要	介護の目的、機能及び展開過程を理解し、高齢者や障がい者の介護並びにその家庭・家族に対する援助について学びます。				
到達目標	１）　介護保険制度について概説できる。 ２）　老年期の心身の変化の特徴について説明できる。 ３）　認知症に伴う心とからだの変化を概説できる。 ４）　自立に向けた介護の展開を概説できる				

授業計画			
	１）	／	介護・福祉サービスの理解と医療の連携 介護保険制度・医療との連携とリハビリテーション
	２）	／	老化の理解　老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴
	３）	／	認知症の理解　①医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理
	４）	／	②認知症に伴う心とからだの変化と日常生活・家族への支援
	５）	／	自立に向けた介護の展開(環境・整容・入浴・清潔保持・排泄・睡眠)
	６）	／	自立に向けた介護の展開(移動・移乗)
	７）	／	自立に向けた介護の展開(食事)
	８）	／	定期試験
成績評価の方法	定期試験の成績で評価。 なお、定期試験は筆記試験を行い、１００点満点の６０点以上を合格とする。		

テキスト	
参考図書	
その他	

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年	専門分野	必須	１単位１５時間	授業方法（講義）
科目名	隣接医学				
担当教員	福田 仁一 歯科医師として、九州歯科大学教授、附属病院長、学長、医療法人社団三成会　新百合ヶ丘総合病院歯科口腔外科研究所所長を経て、現在大分歯科専門学校校長として勤務。専門は口腔外科学。				
授業概要	テキストを用いて、歯科臨床で遭遇することの多い全身疾患について説明する。				
到達目標	１）　全身疾患の知識の必要性を説明できる。 ２）　歯科疾患と関連する全身疾患名を複数あげることができる。 ３）　多職種連携の意義を説明できる。				

授業計画			
	１）	4/7	全身疾患の基礎知識 代謝・内分泌疾患（糖尿病・骨粗鬆症）
	２）	4/14	消化器疾患（胃食道逆流症・胃炎・胃癌）
			消化器疾患（肝炎・肝硬変）
	３）	4/28	消化器疾患（肝硬変）
			循環義疾患（心疾患・不整脈・高血圧症・低血圧症）
	４）	5/12	血液疾患（貧血・白血病・血友病）
			呼吸器疾患（肺炎・慢性閉塞性肺疾患・結核・睡眠時無呼吸症候群）
	５）	5/26	腎・泌尿器疾患（腎疾患）
			免疫疾患・膠原病（アレルギー・膠原病・シェーグレン症候群）
	６）	6/9	感染症（インフルエンザ・カンジダ症・AIDS）
			感染症（新興ウイルス感染症）
	７）	6/16	神経疾患（脳血管障害・パーキンソン病）
			精神疾患（心身症・神経症・歯科心身症）
	８）	6/23	期末試験

成績評価の方法	定期試験の成績で評価する。なお、定期試験は筆記試験を行い、総合平均点が100点満点の60点以上を合格とする。
テキスト	歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック(医歯薬出版)
参考図書	
その他	

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　前期	専門分野	必須	１単位１５時間	授業方法（講義）
科目名	歯周病予防処置　３				
担当教員	野嶋　富美子　（実務経験者）				
	大分歯科専門学校(付属歯科診療所)勤務、現在に至る。				
授業概要	・歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得する				
到達目標	１）　キュレットタイプスケーラーを操作できる。 ２）　超音波・エアスケーラーの原理と操作方法を理解する。 ３）　歯面清掃・歯面研磨の種類と使用方法を説明できる。				

授業計画			
	１）	／	＊グレーシーキュレットスケーラー(マネキン)　①前歯部　5/6
	２）	／	＊　②臼歯部隣接面　前回復習　5/6　11/12　13/14
	３）	／	＊　③臼歯部歯頸部　前回復習　7/8　11/12　13/14
	４）	／	＊　④最終確認練習・ﾌﾟﾛｰﾋﾞﾝｸﾞ・歯間離開度(マネキン)
	５）	／	＊　⑤グレーシータイプキュレット　実技テスト
	６）	／	パワー（機械的）スケーラー　超音波スケーラー　操作方法　注意事項
	７）	／	エアスケーラー　歯面清掃器(エアフロー)
	８）	／	試　験

成績評価の方法	定期試験の成績（７割）と実習成績（３割）【実技点・提出物・出席状況】で評価。 なお、１００点満点の６０点以上を合格とする。
テキスト	最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導
参考図書	
その他	

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　前期	専門分野	必須	１単位１５時間	授業方法（講義）
科目名	う蝕予防処置				
担当教員	野嶋　富美子　（実務経験者） 大分歯科専門学校(付属歯科診療所)勤務、現在に至る。				
授業概要	う蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために、専門的な知識、技術、及び態度を習得する。				
到達目標	１）　う蝕予防処置の臨床的効果、作用機序、安全性、および便宜性を説明できる。 ２）　う蝕活動性試験の目的と種類を説明、評価とう蝕予防プログラムが立案できる。 ３）　フッ化物歯面塗布の薬剤の種類・濃度、術式などを理解する。 ４）　フッ化物洗口法の種類と取扱い、洗口方法が説明できる。 ５）　フッ化物配合歯磨剤の種類と年齢に応じた量、使用方法が説明できる。 ６）　小窩裂溝填塞法の適応歯、種類、特徴が理解する。 ７）　メインテナンスの目的、必要性を説明できる。				
授業計画	１）　／　う蝕予防処置とは　　う蝕活動性試験①				
	２）　／　う蝕活動性試験②				
	３）　／　フッ化物歯面塗布　塗布時期と対象歯　薬剤　保管と使用量の確認				
	４）　／　フッ化物歯面塗布の術式　保健指導の際の注意点　その他のフッ化物製剤				
	５）　／　フッ化物洗口　特徴　種類　注意事項　・フッ化物配合歯磨剤				
	６）　／　悪心嘔吐発現フッ化物溶液量の算出法・ライフステージ別のフッ化物応用				
	７）　／　小窩裂溝填塞法（適応歯　術式　指導　注意事項）、フッ化ジアンミン銀				
	８）　／　試験				
成績評価の方法	定期試験の成績（７割）と実習成績（３割）【実技点・提出物・出席状況】で評価。 なお、１００点満点の６０点以上を合格とする。				
テキスト	最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導				
参考図書					
その他					

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　前期	専門分野	必須	2単位45時間	授業方法（演習）
科目名	歯科保健指導２				
担当教員	衞藤　里美　（実務経験者）				
	大分歯科専門学校(付属歯科診療所)勤務、現在に至る。				
授業概要	健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術および態度を学びます。				
到達目標	１）　歯科保健指導の概要を説明できる。 ２）　保健行動と行動変容の手法を理解し、活用できる。 ３）　歯科衛生過程を理解し、概要を説明できる ４）　歯科衛生過程の流れに沿って業務記録をまとめることができる。 ５）　食生活と歯科疾患の関連性を説明できる。 ６）　健康教育の対象と場の特徴を説明できる。				

授業計画		
１）	／	対象者別歯科保健指導　①妊産婦指導に対する口腔清掃
２）	／	妊産婦指導説明テスト
３）	／	②乳幼児に対する口腔清掃
４）	／	乳幼児指導説明テスト
５）	／	③学童期に対する口腔清掃
６）	／	学童指導説明テスト
７）	／	④成人期に対する口腔清掃
８）	／	成人期指導説明テスト
９）	／	症例別歯科保健指導　①間食指導
10）	／	②クラウン・ブリッジ・義歯装着者への口腔清掃
11）	／	クラウン・ブリッジ・義歯装着者への口腔清掃
12）	／	クラウン・ブリッジ・義歯装着者指導説明テスト
13）	／	前期中間試験
14）	／	③矯正装置者に対する口腔清掃
15）	／	④インプラント装着者に対する口腔清掃
16）	／	矯正装置・インプラント装着者説明テスト
17）	／	⑤周術期の口腔衛生管理
18）	／	⑥障害者への歯科保健指導方法（特徴/対応）
19）	／	⑦禁煙ステージと禁煙支援
20）	／	要介護高齢者への歯科保健指導要介護高齢者の理解
21）	／	要介護高齢者への歯科保健指導要介護高齢者の理解（自立度の判定）
22）	／	要介護高齢者への歯科保健指導　（摂食嚥下と機能障害）
23）	／	要介護高齢者への口腔衛生管理　（口腔ケア①）
24）	／	前期期末試験

成績評価の方法	定期試験の７０％、実技成績(実技点・レポート、出席状況)３０％で評価する なお、１００点満点の６０点以上を合格とする
テキスト	最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導/歯科補綴学/歯科矯正学/口腔外科・麻酔学/障害者歯科学/高齢者歯科学/歯科衛生学総論
参考図書	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション
その他	

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	2年　前期	専門分野	必須	２単位４５時間	授業方法（演習）
科目名	歯科診療補助（共同動作）				
担当教員	甲斐　加代子（実務経験者） 歯科衛生士として大分市内の歯科医院にて勤務し、その後、大分歯科専門学校付属歯科診療所にて勤務現在に至る。				
授業概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基礎的知識、技術および態度を学びます。				
到達目標	１）　フォーハンドシステムの基本動作ができる ２）　スタンダードプレコーションができる ３）　歯の漂白の適応症・種類・手順・器材・薬剤・術後指導の内容を説明できる ４）　歯髄処置や根管処置の手順の説明や、薬剤・器材などの準備ができる ５）　エックス線撮影装置の種類・手順の内容の説明ができる ６）　抜歯用器材の準備と取り扱いや抜歯後の注意を説明できる ７）　止血・縫合・麻酔の器材・薬剤の準備と取り扱いができる ８）　バイタルサインの測定やAEDの取り扱いができる ９）　補綴治療における各種検査の手順の説明や器材の準備、プロビジョナルレストレーションの説明ができる 10）　隔壁・歯肉圧排・歯間分離に用いる器具の操作ができる 11）　小児・高齢者・障害者の状態把握と対応ができる				

授業計画		
【２年　前期】		
１）	／	歯内療法①（概要・鎮静～切断・抜髄）
２）	／	歯内療法②実習（器材確認・綿線作成）
３）	／	歯内療法③実習判定（器材確認・綿線作成）
４）	／	歯内療法④（外科的歯内療法・ホワイトニング）
５）	／	放射線①（口内法）
６）	／	**放射線②（口内法）演習**
７）	／	**放射線③（口内法）演習**
８）	／	放射線④（口外法）
９）	／	放射線⑤（マウント）
10）	／	**放射線⑥（マウント）演習**
11）	／	口腔外科①（バイタル・麻酔）
12）	／	**前期中間試験**
13）	／	口腔外科②（術式・術後説明）
14）	／	口腔外科③実習（抜歯器材確認）
15）	／	口腔外科④実習（抜歯器材準備確認）
16）	／	口腔外科⑤実習（抜歯器材準備・判定）
17）	／	補綴①（基礎・種類）
18）	／	補綴②（義歯）
19）	／	補綴③（器材確認・義歯着脱・術後説明）
20）	／	補綴④（歯肉圧排・TEC）
21）	／	補綴⑤実習（歯肉圧排）
22）	／	補綴⑥実習（TEC作成）
23）	／	
24）	／	**後期期末試験**

成績評価の方法	定期試験の成績(7割)と平常点(3割)≪出欠・態度・レポート提出・実技点等≫で評価 なお、定期試験は筆記試験を行い、１００点満点の６０点以上を合格とする。
テキスト	最新　歯科衛生士教本 ①歯科診療補助論 ②歯科材料 ③歯の硬組織・歯髄疾患　保存修復・歯内療法 ④歯科放射線 ⑤顎・口腔粘膜疾患　口腔外科・歯科麻酔 ⑥歯周病学 ⑦咀嚼障害・咬合異常１　歯科補綴 ⑧小児歯科 全国歯科衛生士教育協議会　医歯薬出版
参考図書	

その他	

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　前期	専門分野	必須	２単位９０時間	授業方法（実習）
科目名	臨床実習２・前期				
担当教員	臨地実習指導医・指導歯科衛生士				
授業概要	臨床実習では、履修した講義・実習によって修得した基礎的な知識や技術を論理的に整理し、それぞれの現場において歯科衛生士の業務の実践に関わりながら、歯科予防処置、歯科診療補助、保健指導の理解を体系的に深める。 また、歯科医療の現場においてメディカルスタッフの一員としての資質を高め、チーム医療の体制を理解し、患者・スタッフとのコミュニケーション能力を身に付ける。				
到達目標	学内での既習内容を臨床の場で結び付ける事により、歯科衛生士としての役割と業務を理解し、実行することができる。 １）　前期履修科目（臨床科目：保存修復、歯内療法、歯周療法、補綴学、放射線） ２）　地域歯科保健の場での歯科衛生士の役割を学ぶ。				
授業計画	〈地域保健活動〉　５月下旬～６月上旬　幼稚園児・小学1年生対象　健康教育活動 〈臨床実習〉　前期　８月下旬～９月２日　（内８日間）				
成績評価の方法	実習指導者の評価、出席状況、実習記録等を総合して評価する				
テキスト					
参考図書					
その他					

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　前期	専門分野	必須	１単位３０時間	授業方法（演習）
科目名	健康教育活動２				
担当教員	日野　しのぶ 大分歯科専門学校(付属歯科診療所)勤務、現在に至る。				
授業概要	健康教育活動の場で指導するにあたり、３学年がチームを組み対象者に対して適切な口腔衛生指導が出来るようにするために必要な知識、技能を習得します。				
到達目標	１）　対象者の特性とニーズが把握できる ２）　保育所、幼稚園、小学校の口腔保健の実態が把握できる ３）　保育所、幼稚園、小学校(乳幼児・児童)を対象とした健康教育ができる				
授業計画	1）　／　健康教育活動の目的確認及び指導内容の理解(小学校)①				
	2）　／　指導内容の理解(幼稚園)②				
	3）　／　健康教育活動チーム練習(幼稚園・小学校)①				
	4）　／　健康教育活動チーム練習(幼稚園・小学校)②				
	5）　／　健康教育活動講話技術確認(幼稚園・小学校)・練習①				
	6）　／　健康教育活動講話技術確認(幼稚園・小学校)・練習②				
	7）　／　健康教育活動講話技術確認(幼稚園・小学校)・練習③				
	8）　／　健康教育活動チーム別リハーサル(幼稚園)				
	9）　／　健康教育活動ロールプレイング(幼稚園)				
	10)　／　健康教育活動チーム別リハーサル(小学校)				
	11)　／　健康教育活動ロールプレイング(小学校)				
	12)　／　健康教育活動チーム別打合せ(幼稚園及びクラスごと)				
	13)　／　健康教育活動全体確認(チーム及び指導校毎)①				
	14)　／　健康教育活動全体確認(チーム及び指導校毎)②				
	15)　／　健康教育活動実施後の振り返り(評価)				
成績評価の方法	定期試験での評価でなく、出席状況・意欲・態度・レポート提出状況・チェックの合否を評価し単位認定を行う（幼稚園のチェック評価）				
テキスト					
参考図書					
その他					

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　後期	専門分野	必須	１単位１５時間	授業方法（講義）
科目名	衛生統計学				
担当教員	衞藤　里美				
授業概要	テキストや文献を用い、情報と統計の関係を教えるとともに、歯科衛生士の業務上必要な統計処理方法を演習を含めて実施する。				
到達目標	1　情報の性質およびＥＢＭを理解できる 2　疫学、調査方法、有病・罹患、研究方法、スクリーニング検査を説明できる 3　敏感度および特異度を計算することができる 4　保健調査と質問紙作成の基本、標本抽出法が理解できる 5　保健統計の方法（代表値、散布度、検定など）を理解し選択できる				

授業計画			
前期			
1)	／	１）歯科衛生統計の意味	①統計とは何か
		２）保健情報と保健統計	①データと情報の違い　②ＥＢＭとは何か
		３）保健情報と疫学方法	①疫学とは何か　②調査方法及び研究方法
２）	／	４）保健情報の分析手順	①情報収集の進め方 ②質問調査、調査票作成上の注意
３）	／		③指標と指数、情報の整理と集計
４）	／	５）保健統計の分析法	①代表値、ちらばり、相関
５）	／		②検定
６）	／	６）保健情報の分析演習	①図表の種類と特徴　②図表の作成
７）	／	７）演習　データの集計～分析、検定、図表の作成	
８）	／	期末試験	

成績評価の方法	定期試験の成績で総合評価する なお、定期試験は筆記試験を行い、総合平均点が１００点満点の６０点以上を合格とする。
テキスト	最新歯科衛生士教本　保健情報統計学：全国歯科衛生士教育協議会編集　医歯薬出版
参考図書	作製プリント、分かりやすい歯科衛生士学生のための卒業研究ガイドブック
その他	

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	2年　後期	専門分野	必須	2単位30時間	授業方法(講義)
科目名	衛生学・公衆衛生学				
担当教員	河野　俊夫 歯科診療所にて歯科医療に従事。 現在、大分歯科専門学校の兼任教員および臨床実習医院指導教員。				
授業概要	健康を左右する環境衛生の重要性を理解し、個人と集団に対する健康障害の予防能力を高める態度を養うために、歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組みに関する基本的知識を学ぶ。				
到達目標	1) 2)　疫学の定義・疾病の異常の発生要因・疫学研究の方法を説明できる。 3)　わが国と世界における人口の現状と推移・人口統計・人口構造・平均寿命などを概説できる。 4)　人間と環境の関係・健康と環境の関係・地球環境・公害・廃棄物の種類等を説明できる。 5)　感染症の概念と感染成立の三要素・感染予防・対策・感染症の分類を説明できる。 6)　食中毒・健康日本21(第二次)における食に関する基本的知識を習得する。 7)　母子保健の概略を説明できる 8)　学校保健の保健教育と保健管理・健康診断を概説できる 9)　生活習慣病のリスクファクターを列挙でき、成人保健対策を説明できる 10)　産業保健の目的・法規・職業性疾患と要因・保健管理体制・THPについて説明できる 11)　高齢者の保健福祉対策・介護保険制度・介護予防・地域包括ケアシステムを説明できる 12)　精神保健の定義・大規模災害時の保健医療対策の説明ができる				
授業計画	前期				
	1)	／	総論(保健態学とは　予防医学の概念)　・　疫学(定義および概要　方法) ・予防法の適応(第一次予防・第二次予防・第三次予防) ・疫学(罹患率・有病率・記述疫学) ・疫学(分析疫学(横断研究、縦断研究:コホート研究、患者対照研究・介入研究)		
	2)	／	人口(動向　人口動態統計　生命表) ・我が国の人口、人口統計(人口静態統計・人口動態統計)、人口構造 ・婚姻と離婚、平均余命と平均寿命		
	3)	／	健康と環境　① (環境の概念　空気・水と健康　・放射線と健康　住居・衣服と健康) ・空気の正常成分、異常成分 ・温熱環境(気温・気湿・気流・輻射熱)、感覚温度、不快指数 ・水(上水道の水質基準、上水法、下水道の処理方法、水質検査) ・放射線の種類		
	4)	／	健康と環境　② (地球環境の変化と健康への影響　公害と健康への影響　・　廃棄物処理) ・地球温暖化、酸性雨、オゾン層破壊、砂漠化、森林減少の原因物質 ・四大公害病 ・大気汚染、水の汚染、土壌の汚染、騒音、悪臭 ・廃棄物の分類(一般廃棄物、産業廃棄物、感染性廃棄物)		

授業計画	5)	／	感染症 ① （感染症の成り立ち　感染症の予防 ） ・感染成立の三要因（病原体（感染源）・感染経路・宿主の感受性） ・感染の分類・感染経路の分類 ・感染症予防（後天性免疫の種類、感染症成立の三要因に対する対応）
	6)	／	感染症 ② （感染症の予防　主な感染症の動向 ） ・新興感染症と再興感染症 ・感染症法（1類感染症から5類感染症まで）※主に1・2・3類感染症（行政含） ・予防接種法（定期予防接種と任意予防接種） ・検疫法
	7)	／	食品と健康 （食品保健　栄養と健康）（行政含 ※食品衛生法） ・食中毒（原因物質、細菌・ウイルスの分類と特徴 ・食品の安全性確保（特別用途食品、特定保健用食品、保健機能食品など） ・食育（食事バランスガイド）
	8)	／	後期中間試験
	9)	／	地域保健・公衆衛生 ① （地域社会と地域保健の概念 地域保健の組織 ）（行政含） ・健康習慣の項目と内容（ブレスローの研究） ・地域保健の主な対象・法令・行政機関 ・地域保健の組織（保健所と市町村保健センターの設置、業務）
	10)	／	地域保健・公衆衛生 ② （地域保健の新たな概念　地域保活動の進め方） ・ヘルスプロモーション、ソーシャルキャピタス、ノーマライゼーション ・健康危機管理（大規模災害における健康危機管理） ・PDCAサイクル、アウトカム評価、アウトプット評価、プロセス評価 ・ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチ
	11)	／	母子保健 （母子保健の目的・概要　母子保健　小児保健 ）（行政含） ・市町村が実施する母子保健事業（母子保健手帳、健康診査など） ・都道府県が実施する母子保健事業（市町村の連絡調整、医療援護など） ・乳幼児健康診査（1歳6ヵ月児健診、3歳児健診）
	12)	／	成人保健 ①（成人保健の意義と特徴　成人保健活動の現状　成人保健対策） ・生活習慣病（悪性新生物、脳血管疾患、心疾患、など） ・高齢者医療確保法による特定健康診査と特定保健指導 ※歯科保健含む
	13)	／	成人保健 ②（成人保健の意義と特徴　成人保健活動の現状　成人保健対策） ・健康増進法による保健事業 ※歯科保健含む （行政含）
	14)	／	老人（高齢者）保健 （行政含） （老人(高齢者)保健の意義　老人(高齢者)保健のための行政組織と関係する法律） ・介護給付の流れ（保険者・介護認定審査会など） ・介護サービス、高齢者施設、地域包括ケアシステム ・サルコペニア、ロコモティブシンドローム、フレイルとオーラルフレイル、口腔機能低下症
	15)	／	精神保健 （行政含 ※精神保健福祉法） （精神保健とは 精神障害者の歯科保健　わが国の精神保健のあゆみ 精神保健・医療・福祉） ・精神保健センター、保健所の業務・精神障害者の推移・精神障害者の医療 ・精神障害者の歯科保健
	16)	／	後期期末試験
成績評価の方法	定期試験の成績で評価。 なお、定期試験は筆記試験を行い、100点満点の60点以上を合格とする。		
テキスト	最新 歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学　全国歯科衛生士教育協議会　医歯薬出版		
参考図書	わかりやすい公衆衛生学 ヌーヴェルヒロカワ		

その他	

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　後期	専門分野	必須	１単位１５時間	授業方法（講義）
科目名	社会福祉概論・衛生行政				
担当教員	大津　孝彦 歯科医師として、長年保健所、大分県福祉保健部等行政で地域保健の向上に携わる。 現在、大分歯科専門学校兼任教員				
授業概要	日本の保健・医療・福祉制度と医事法制を理解し、歯科衛生士のあり方を考える態度を養うために、歯科衛生士に必要な法律・制度に関する基本的知識を習得します。				
到達目標	1)　日本の医療制度を概説できる 2)　歯科衛生士資格の成り立ちと目的を説明できる 3)　歯科医師の指示で歯科診療の補助を行う医療職種を列挙できる 4)　薬事衛生法規、保健衛生法規、予防衛生法規を列挙し、その概要を説明できる 5)　憲法第25条で示す社会保障制度の種類を列挙できる 6)　歯科衛生士が関わる社会福祉を説明できる				

授業計画			
	1)	／	歯科衛生士と法律①　（歯科衛生士法　歯科医師法　歯科技工士法） ・歯科衛生士法（歯科衛生士法の成り立ち・目的、歯科衛生士業務、歯科衛生士免許の登録、欠格事由、業務上の義務） ・歯科医師法（欠格事由、義務（診療録の保存義務）） ・歯科技工士法（歯科技工指示書の保存義務）
	2)	／	歯科衛生士と法律②　（歯科口腔保健の推進に関わる法律　医療法） ・歯科口腔保健の推進に関わる法律（目的・口腔保健支援センター） ・医療法（総則、医療安全の確保、医療提供体制の確保）
	3)	／	医療関係職種 （歯科医療とかかわる医療従事者　医師法　薬剤師法　その他の医療関係職種に係る法律） ・歯科医療者がかかわる医療従事者名
	4)	／	その他の関係法規（薬事に関する法律　地域保健に関連する法律　その他の衛生法規） ・薬事に関する法規（目的・定義、毒物、麻薬、大麻、覚せい剤） ※地域保健法・健康増進法・精神保健福祉法・食品衛生法・感染症法 母子保健法・学校保健安全法・労働安全衛生法は口腔衛生・公衆衛生にて
	5)	／	社会保障①　（社会保険：医療保険） ・医療保険：種類、健康保険法、国民健康保険法、高齢者医療確保法、診査支払機関
	6)	／	社会保障②（社会保険：介護保険　年金保険　雇用保険と労働者災害補償保険） ・介護保険：保険者と被保険者、要介護認定、保険給付、地域包括支援センター ・年金保険（仕組み） ・雇用保険と労働者災害補償保険（仕組み）
	7)	／	社会保障③（社会福祉）　医療の動向 ・社会福祉（福祉六法） 生活保護法（扶助の内容）、児童福祉法障害者総合支援法、老人福祉法 ・医療の動向（国民医療費、歯科診療医療費の割合）
	8)	／	後期試験

成績評価の方法	定期試験の成績で評価。 　なお、定期試験は筆記試験を行い、１００点満点の６０点以上を合格とする。
テキスト	最新　歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み２ 歯科衛生士と法律・制度
参考図書	
その他	

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　後期	専門分野	必須	１単位３０時間	授業方法（講義）
科目名	口腔外科学・歯科麻酔学				
担当教員	阿部　史佳（実務経験者）大分大学医学部歯科口腔外科助教 現在、大分歯科専門学校兼任教員および指導教員				
授業概要	(1)歯科衛生士業務を行うために必要な顎・口腔領域に生じる各種疾患の特徴と症状、診断法および治療法を学ぶ (2)歯科衛生業務を行うために必要な全身管理、局所麻酔、精神鎮静法および全身麻酔の種類・特徴を学ぶ。				
到達目標	口腔外科学 １）　顎・口腔領域に生じる各種疾患を分類できる ２）　先天異常・発育異常の症状と治療法を概説できる ３）　歯・顎骨におこる外傷や軟組織の損傷など疾患の種類と症状および治療法を概説できる ４）　歯性感染の原因、感染経路、症状および治療法を概説できる ５）　顎骨および口腔軟組織に発生する嚢胞・腫瘍を分類しその症状および治療法を概説できる ６）　顎関節、唾液腺、および口腔領域の神経、血液疾患の症状、治療法などを概説できる ７）　抜歯・口腔外科小手術の適応、禁忌、手順、術後説明および周術期の衛生管理を説明できる 歯科麻酔学 １）　バイタルサイン、経皮的動脈血酸素飽和度[SpO_2]を説明できる ２）　各種局所麻酔法と施術時の注意点を説明できる ３）　歯科治療時の全身的偶発症とその対応を説明できる ４）　周術期における歯科衛生士の役割について説明することができる				

授業計画			
	1）	／	先天異常と発育異常（Ⅰ編2章　顎・口腔領域の先天異常と発育異常　p19～）
	2）	／	口腔領域の損傷（Ⅰ編3章　顎・口腔領域の損傷および機能障害　p34～）
	3）	／	顎関節疾患（Ⅰ編3章　顎・口腔領域の損傷および機能障害　p45～）
	4）	／	口腔粘膜疾患（Ⅰ編4章　口腔粘膜の病変①～⑦　p50～） 血液疾患と出血性素因（Ⅰ編4章　口腔粘膜の病変⑧～⑨　p70～）
	5）	／	歯性感染症（Ⅰ編5章　顎・口腔領域の化膿性炎症疾患　p80～）
	6）	／	顎・口腔領域の嚢胞（Ⅰ編6章　顎・口腔領域の嚢胞性疾患　p89～）
	7）	／	後期中間試験
	8）	／	口腔腫瘍（Ⅰ編7章　顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患　p97～）
	9）	／	唾液腺疾患（Ⅰ編8章　唾液腺疾患　p112～） 神経疾患（Ⅰ編9章　口腔領域の神経疾患　p122～）
	10)	／	消毒と滅菌、院内感染予防（Ⅰ編10章　口腔外科診療の実際　p135～）
	11)	／	抜歯術（Ⅰ編10章　口腔外科診療の実際　p139～） 創傷治癒（Ⅰ編10章　口腔外科診療の実際　p136～） 全身的基礎疾患と歯科診療（Ⅰ編1章　口腔外科の概要　p9～）

	12)	／	局所麻酔法（麻酔方法、麻酔薬の分類と血管収縮薬、器材）、局所的偶発症 （Ⅱ編2章 p185～）
	13)	／	精神鎮静法 ― 吸入鎮静法、静脈内鎮静法 （薬剤、適応症と禁忌症、手順、至適鎮静状態の判定、一般的注意） （3章p194～）
	14)	／	全身麻酔―術前・中・後管理、全身麻酔法（薬物の種類）、静脈麻酔 （4章p200～）
	15)	／	救急蘇生法― 全身的偶発症（種類、症状、対応）、一次・二次救命処置 （5章p206）
	16)	／	後期期末試験
成績評価の方法	定期試験（中間試験、期末試験）の総合成績で評価。 なお、定期試験は筆記試験を行い、１００点満点の６０点以上を合格とする。		
テキスト	最新歯科衛生士教本　口腔外科・歯科麻酔学 全国歯科衛生士教育協議会　医歯薬出版		
参考図書	必要に応じて準備します		
その他	パワーポイント　　プリント		

2023年度　大分歯科専門学校

<table>
<tr><td>基本情報</td><td colspan="2">２年　後期</td><td>専門分野</td><td>必須</td><td>１単位２０時間</td><td>授業方法（講義）</td></tr>
<tr><td>科目名</td><td colspan="6">小児歯科学</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="6">大谷　周平（実務経験者）
一般歯科・小児歯科診療所を開業
現在、大分歯科専門学校兼任教員、指導教員を担当</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="6">歯科衛生業務を行うために必要な小児の身体的・心理的特徴と小児の歯科治療を学びます</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="6">１）　小児の正常な身体的成長発育とその障害を説明できる
２）　各年齢における小児の心理的発育とその障害を説明できる
３）　小児の先天性疾患を説明できる３）歯列・咬合の正常発育とその障害を説明できる
４）　乳歯と幼若永久歯、小児う蝕の特徴と予防・治療法を説明できる
５）　小児の口腔外科的疾患、外傷の種類と処置法を説明できる
６）　咬合誘導の概念、保隙装置の種類や留意点を説明できる</td></tr>
<tr><td rowspan="4">授業計画</td><td>1)</td><td>／</td><td colspan="4">１章：小児歯科概論
①小児歯科の意義と目的
①小児歯科治療とその特徴　　・小児歯科診療の流れ</td></tr>
<tr><td>２）
３）</td><td>／</td><td colspan="4">３章：小児歯科における診療体系
③小児の歯冠修復　　・ラバーダム、歯内療法、幼若永久歯の歯内療法
（アペキソゲネーシス、アペキシフィケーション）
④咬合誘導　　・保隙装置の種類と特徴
⑤リコールの管理・時期・間隔</td></tr>
<tr><td>４）</td><td>／</td><td colspan="4">７章：小児の歯科疾患
①小児にみられるう蝕　　・乳歯う蝕の特徴　・好発部位　・罹患型
②幼若永久歯のう蝕　　・特徴　・第一大臼歯のう蝕の特徴
③小児にみられる歯周疾患
⑤小児にみられる口腔軟組織の異常と疾患
・ウイルス性口内炎、水疱　　・上唇・舌小帯の異常と注意点
・唇顎口蓋裂と障害
５章：歯の発育とその異常
①乳歯・幼若永久歯の特徴
②歯の形成　　・歯の発育段階における発育障害の分類
③歯の萌出と萌出異常</td></tr>
<tr><td>５）
６）</td><td>／</td><td colspan="4">６章：歯列・咬合の発育と異常
①歯列・咬合の発育　・ヘルマンの咬合発育段階と歯列の発育
・空隙の種類、ターミナルプレーン、みにくいあひるの子時代
・リーウェイスペース
②歯列・咬合の異常　・機能性、骨格性、口腔習癖に起因する不正咬合</td></tr>
</table>

授業計画	7）	／	2章：心身の発育① ①発育状態の評価　・カウプ指数、ローレル指数 ・年齢と身体発育の特徴（体重・身長の変化） ②生理的年齢　・骨年齢（手根骨）　・歯年齢 ③器官・精神の発達　・スキャモンの臓器別発育曲線 ④精神発達　・言語、情動、運動の発達の特徴（年齢） ⑤摂食・嚥下機能の発達　・原始反射と哺乳運動　・咀嚼能力の発達 ３章：小児の生理的特徴 ①バイタルサインと生理的特徴　・体温、呼吸、脈拍、血圧の特徴 ②薬物処方と薬物療法　・感受性、薬用量 ４章：顔面頭蓋の発育 ①脳頭蓋と顔面頭蓋の発育変化 ・スキャモンの発育曲線の関係　・身長と頭長の割合 ②脳頭蓋・顔面頭蓋の発育の特徴　・頭蓋の成長とその特徴 ・顎の発育と成長様式（骨添加と吸収）（縫合・軟骨性・骨膜） ③発育の評価　・セファロ、模型分析　※矯正学と重複
	8）	／	４章：障がい児の歯科治療 ①主な障害とその全身的・歯科的特徴 ・脳性麻痺、視覚・聴覚障害、ダウン症、自閉的障害の特徴と対応 ②小児の摂食・嚥下障害の特徴 ②小児歯科における麻酔法　・局所麻酔と合併症（ショック、咬傷）
	9）	／	２章：小児歯科における患者との対応法 ①患児・保護者と歯科医師・歯科衛生士との関係 ・小児歯科三角と歯科衛生士の役割 ②歯科診療室における小児の態度と行動　・Frankl の行動分類 ③歯科治療時の対応法 ・行動療法的対応法（TSD法、モデリング法、トークンエコノミー法） ・抑制的対応法（HOM法、抑制具による方法、開口法） ・鎮静・減痛下の対応法（笑気吸入鎮静法、前投薬法、全身麻酔下） ・緊急時の対応法（嘔吐、誤嚥、チアノーゼ）
	１０）	／	②小児の摂食・嚥下障害の特徴
	１１）	／	期末試験
成績評価の方法	定期試験（期末試験）の成績で評価。 なお、定期試験は筆記試験を行い、１００点満点の６０点以上を合格とする。		
テキスト	最新歯科衛生士教本　小児歯科　全国歯科衛生士教育協議会　医歯薬出版		
参考図書	必要に応じて準備します		
その他	プリント、パワーポイント		

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　後期　　専門分野	必須	１単位２０時間	授業方法（講義）
科目名	歯科矯正学			
担当教員	高橋　政人　（実務経験者） 歯科診療所院長として歯科医療に従事			
授業概要	歯科衛生士業務を行うために必要な不正咬合の症状および治療法を理解する			
到達目標	１）　成長発育に伴う正常咬合を説明できる ２）　不正咬合の原因と種類を列挙できる ３）　矯正装置の種類、構造および機能を説明できる ４）　矯正治療に用いる器材とその取扱いが説明できる			
授業計画	1）	／	１章　矯正歯科治療の概要 ・矯正治療の目的・需要と必要性・ベネフィットとリスク・チーム医療	
	2）	／	３章　正常咬合と不正咬合 ・正常咬合とは　・ﾊﾞｸｼﾈｰﾀｰﾒｶﾆｽﾞﾑ ・不正咬合とは　・個々の歯の位置異常と定義 ・歯列弓の異常　.・上下歯列弓関係の異常	
	3）	／	３章　不正咬合の分類 ・Angleの分類　・不正咬合の原因（一般的-先天的後天的、局所的-口腔習癖）・不正咬合の予防	
	4）	／	４章　矯正歯科診断 ①形態検査と診断（E-ﾗｲﾝ、ｵｰﾊﾞｰｼﾞｪｯﾄ、ｵｰﾊﾞｰﾊﾞｲﾄ、ｱｰﾁﾚﾝｸﾞｽﾃﾞｨｽｸﾚﾊﾟﾝｼｰ、予測模型） ②画像検査と診断（側方頭部規格写真の基準点･平面／ﾄﾚｰｽ） ③機能検査と診断	
	5）	／	４章　矯正歯科診断　　トレース図作成（実習）	
	6）	／	５章　矯正歯科治療と力、矯正力・顎整形力・保定 ・固定の種類　・歯の移動と歯根膜,骨の変化　・矯正力の作用時間 ・歯の移動様式　・矯正力と顎整形力　・保定の定義と種類	
	7）	／	６章　矯正装置１（実習） ①床、②固定式、③機能的矯正装置の適応症と特徴	
	8）	／	６章　矯正装置２（実習） ④拡大、⑤顎外固定、⑥口腔習癖除去、⑦保定装置の適応症と特徴	
	9）	／	矯正歯科用器具・材料の準備と取り扱い	
	10）	／	矯正治療の実際・矯正器材（実習）	
	11）	／	定期試験	
成績評価の方法	定期試験の成績で評価。 なお、定期試験は筆記試験を行い、１００点満点の６０点以上を合格とする。			
テキスト	歯科矯正学　全国歯科衛生士教育協議会　医歯薬出版			
参考図書	歯科矯正マニュアル　南山堂			
その他				

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　後期	専門分野	必須	１単位３０時間	授業方法（講義）
科目名	高齢者・障害者歯科学				
担当教員	内野　辰宏　（実務経験者） 歯科診療所院長として歯科医療に従事 現在、大分歯科専門学校の兼任教員				
授業概要	テキストを用い歯科衛生業務を行うために必要な高齢者及び障害児者の身体的・心理的特徴と歯科治療を学びます。				
到達目標	１）　全身および口腔の加齢と老化を説明できる。 ２）　高齢者の摂食嚥下障害の原因・症状・リハビリテーションについて説明できる。 ３）　障害の種類・歯科的特徴及び歯科保健医療の留意点を説明できる。 ４）　障害児者の歯科医療を説明できる。 ５）　障害児者の保健・医療・福祉制度を説明できる。				

授業計画			
	≪高齢者歯科≫		
	1）	／	高齢者を取り巻く社会と環境(高齢化率・寿命・死因・歯科疾患実態調査の結果・高齢者医療確保法・介護保険制度・居住形態)
	2）	／	加齢による身体的変化(サルコペニア・骨粗鬆症・胃食道逆流症・難聴・味覚低下・顎骨変化・口腔咽頭領域他)
	3）	／	加齢による精神的変化と疾患(うつ・せん妄・がん治療・脳血管障害・肺炎・パーキンソン病・認知症・オーラルフレイル他)
	4）		高齢者の状況の把握（ＡＤＬ・認知機能評価法、臨床検査・栄養評価・服用薬剤及び副作用他)
	5）	／	口腔のケア(高齢者・有病高齢者・要介護高齢者)
	6）	／	摂食嚥下リハビリテーション(評価：スクリーニングテスト、ＶＥ・ＶＦ)・訓練(間接訓練・直接訓練))
	7）	／	高齢者にかかわる医療と介護(介護保険・地域支援事業と予防給付)
	8）	／	後期中間試験
	≪障害者歯科≫		
	9）	／	障害の概念(ＩＣＦ・ノーマライゼーション・バリアフリー)
	10)	／	歯科医療で特別な支援が必要な疾患(知的障害・自閉症・脳性麻痺筋ジストロフィー・関節リウマチ・ＡＬＳ・摂食障害他)
	11)	／	障害者の歯科医療と行動調整(コミュニケーション法・行動変容法・体動コントロール・薬物的行動調整法)
	12)	／	健康支援と口腔衛生管理(専門的口腔ケア)
	13)	／	リスク評価と安全管理
	14)	／	摂食嚥下リハビリテーションと歯科衛生士の役割
	15)	／	地域における障害者歯科(障がい者歯科と関連職種)
	16)	／	後期期末試験

成績評価の方法	定期試験の成績で評価。 なお、定期試験は筆記試験を行い、１００点満点の６０点以上を合格とする。
テキスト	最新歯科衛生士教本　障害者歯科第2版：医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本　高齢者歯科第2版：医歯薬出版株式会社
参考図書	
その他	

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　後期	専門分野	必須	１単位１５時間	授業方法（講義）
科目名	先端医療				
担当教員	小野　晴彦（実務経験者） 歯科診療所院長として歯科医療に従事 現在、大分歯科専門学校の兼任教員および臨床実習医院指導教員				
授業概要	テキストを用い、歯科衛生業務を行うために必要なインプラント、歯周組織再生法、レーザー、マイクロスコープ、歯科心身症などを学びます。				
到達目標	１）　インプラント治療・メインテナンス・インプラント周囲炎について概説できる。 ２）　歯周組織の再生（エムドゲイン・リグロス）について概説できる ３）　レーザーの器具の種類と特徴・治療について説明できる ４）　マイクロスコープの特徴を理解する ５）　デジタルデンティストリーについて概説できる ６）　歯科心身症の概要を理解する				

授業計画	１）	／	**インプラント治療** ・インプラント治療の概要（基本構造、固定法） ・インプラント治療の流れと診療補助① （治療の流れ、医療面接、インフォームド・コンセント、診査・検査、診断と治療計画の立案）
	２）	／	・インプラント治療の流れと診療補助② （前処置・一次手術） ・インプラント治療の流れと診療補助③ （二次手術・印象採得、咬合採得・暫間上部構造の装着、最終上部構造の装着 デジタルソリューションによるインプラント治療の流れ、リコールとメインテナン ・ＣＴ撮影と術前診断について
	３）	／	・インプラントのメインテナンス ・インプラント周囲炎とその対応
	４）	／	**歯周組織再生療法** ・エムドゲインによる再生療法 ・リグロス（ＦＧＦ－２）を用いた再生療法

授業計画	5）	／	**レーザー治療** ・レーザーの基礎知識 ・レーザーの種類と特徴・効果 （半導体レーザー、CO_2レーザー、Ｎｄ：ＹＡＧレーザー、Ｅｒ：ＹＡＧレーザー） ・レーザー使用時の注意点と管理について ・禁忌症例、眼に与える影響、メインテナンスについて **マイクロスコープの治療** ・マイクロスコープの用途や特徴について ・マイクロスコープを使用した治療について
	6）	／	・デジタルデンティストリー （ＣＡＤ／ＣＡＭ）
	7）	／	**歯科心身症について** ・歯科心身症とは（代表的な歯科心身症） ・歯科心身症の評価方法 ・歯科心身症の対応法
	8）	／	定期試験
成績評価の方法	定期試験の成績で評価。 なお、定期試験は筆記試験を行い、１００点満点の６０点以上を合格とする。		
テキスト	最新　咀嚼障害・咬合異常１歯科補綴　全国歯科衛生士教育協議会医歯薬出版 最新　歯周病学　全国歯科衛生士教育協議会医歯薬出版 デンタルスタッフのための歯科心身症ガイドブック　　医歯薬出版株式会社		
参考図書	一目でわかる歯科用レーザー図鑑　医歯薬出版株式会社		
その他			

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年後期	専門分野	必須	１単位３０時間	授業方法（講義）
科目名	医療事務				
担当教員	日野　しのぶ（実務経験者） 大分歯科専門学校(付属歯科診療所)勤務、現在に至る。				
授業概要	社会保険制度を理解し、カルテ、レセプトが作成方法を学びます。 歯科医療事務管理士の資格取得を目指します。				
到達目標	１）医療保険について概説することができる。 ２）保険請求の仕組みについて説明することができる。 ３）ブリッジなどの少数歯欠損補綴について、レセプトにまとめる事が出来る。 ４）義歯などの多数歯欠損補綴について、レセプトにまとめることができる。 ５）6歳未満の幼児の治療について、レセプトにまとめることができる				
授業計画	日程	≪２年後期≫			
	／	１）社会保障について(社会保険制度)・医療保険の種類・保険診療の仕組み			
	／	２）カルテ作成の方法、レセプトと保険請求の仕組み			
	／	３）カルテ・レセプト作成　①成形修復(ＣＲ・インレー修復)			
	／	４）　②歯周基本治療・画像診断・歯内療法・投薬			
	／	５）　③ブリッジ			
	／	６）　④ブリッジ修理			
	／	７）保険請求のポイント確認			
	／	８）定期試験			
	／	９）　⑤義歯新製			
	／	10）　⑥義歯修理			
	／	11）　⑦義歯裏層			
	／	12）カルテ・レセプト作成　⑧小児の算定の特徴			
	／	13）　⑨乳歯冠			
	／	14）　⑩乳歯レジン冠			
		15）保険請求のポイント確認			
	／	16）定期試験			
成績評価の方法	定期試験の成績８０％、平常点２０％（提出物・出席状況・授業態度）で評価。１００点満点の６０点以上を合格とする。				
テキスト	ソラスト　診療報酬の算定　医療保障制度　歯科試験問題集				
参考図書					
その他					

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　後期	専門分野	必須	１単位１５時間	授業方法（講義）
科目名	摂食嚥下機能の評価と訓練				
担当教員	平岡　賢 リハビリテーションセンター、肢体不自由児施設、病院などで言語聴覚士として勤務 平成１３年より、大分リハビリテーション言語聴覚士科専任教員として現在に至る				
授業概要	「口から食べること」は、歯科医療の目標である。摂食嚥下障害の患者の機能回復の為の対応(リハビリテーション)に必要な専門知識と技術を学び、多職種とのチームアプローチを学ぶ。				
到達目標	①摂食嚥下機能のメカニズムついて説明できる。 ②摂食嚥下障害の症状について説明できる。 ③摂食嚥下障害について評価できる。 ④摂食嚥下リハビリテーションを行うことができる。 ⑤摂食嚥下障害者の代償栄養法について説明できる。 ⑥摂食嚥下障害へのリスク管理について説明できる。 ⑦摂食嚥下リハビリテーションのチーム医療について説明できる。（症例検討）				

授業計画			
	1)	／	摂食嚥下機能の解剖と生理
	2)	／	摂食嚥下の評価と内容 ①診査 ②スクリーニングテスト(質問用紙・ＲＳＳＴ・MWＳＴ・ＦＴ・頸部聴診など)　③嚥下内視鏡検査(VE)と嚥下造影検査(VF)
	3)	／	嚥下訓練１ ・嚥下機能に関する間接訓練 (マッサージ・ＲＯＭ訓点・シャキア法・開口訓練・アイスマッサージ) ・呼吸機能に関する間接訓練(深呼吸・胸郭可動域訓練・咳嗽訓練・発声訓練)
	4)	／	嚥下訓練２ ・直接訓練(嚥下の意識化・努力嚥下・頸部前屈嚥下・頸部旋回嚥下・一側嚥下・リクライニング等)
	5)	／	摂食嚥下障害と代償栄養法 ①経管栄養法、経静脈栄養法（IVH） ②瘻（胃・十二指腸・空）
	6)	／	リスク管理（誤嚥・窒息等対処法） ・ハイムリッヒ（ハイムリック）法、背部叩打法
	7)	／	症例検討 ・VF画像等を通してグループで検討する（チーム医療の役割を含む）
	8)	／	定期試験

成績評価の方法	定期試験の成績で評価する なお、定期試験は筆記試験を行い総合平均点が１００点満点の６０点以上を合格とする
テキスト	医歯薬出版株式会社　　高齢者歯科　　障害者歯科
参考図書	
その他	

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　後期	専門分野	必須	１単位１５時間	授業方法（講義・演習）
科目名	多職種連携				
担当教員	衛藤　里美　（大分歯科専門学校） 平岡　賢　（大分リハビリテーション専門学校　言語聴覚士科） 森尾　高樹　（平松学園　社会福祉士）				
授業概要	総合病院や介護保険施設、在宅の場面では、対象者に対し多職種と連携をはかり、口腔健康管理を実践する力が求められる。歯科衛生士がチームの一員として活動するために必要な多職種の専門性の理解やチーム医療の形態、カンファレンスの手法などを学ぶ。				
到達目標	①歯科衛生士の業務・専門性を説明できる ②歯科医療が関わる多職種連携の場面を列挙できる ③歯科衛生士と連携する職種とその業務内容を説明することができる ④チーム医療の形態を挙げ、それぞれの特徴を述べることができる ⑤症例に対して口腔健康管理の実践ができる ⑥多職種のメンバーとのカンファレンスを理解し、歯科衛生士として意見をまとめることができる				
授業計画	1)	／	チーム医療とは　歯科衛生士が一員として求められる場面 チーム医療の３つの形態と特徴　　カンファレンスとは		
	2)	／	地域包括ケアシステム　　＊言語聴覚士		
	3)	／	総合病院(周術期・NST)　　＊看護師、管理栄養士		
	4)	／	歯科衛生士が協働する職種とその専門性の理解　　＊介護福祉士		
	5)	／	介護現場（要介護）　＊看護師、介護福祉士、社会福祉士		
	6)	／	歯科衛生士が協働する職種とその専門性の理解　*言語聴覚士学生合同演習		
	7)	／	歯科衛生士が協働する職種とその専門性の理解　*言語聴覚士学生合同演習		
	8)	／	定期試験		
成績評価の方法	定期試験５０％、平常点(レポート点、出席状況)５０％で評価する なお、１００点満点の６０点以上を合格とする				
テキスト	医師薬出版 歯科衛生学概論　歯科保健指導論　高齢者歯科　障害者歯科				
参考図書	摂食嚥下リハビリテーション第２版				
その他					

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　後期	専門分野	必須	２単位６０時間	授業方法（実習）
科目名	歯科予防処置実習				
担当教員	野嶋　富美子　（実務経験者）				
	大分歯科専門学校(付属歯科診療所)勤務、現在に至る。				
授業概要	口腔疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために、専門的な知識、技術および態度を習得する。				
到達目標	１）　歯・歯肉・口腔の検査ができる。 ２）　各種スケーラーを適切に選択し操作できる。 ３）　部位や用途に応じた歯面研磨が行える。 ４）　フッ化物歯面塗布が実施できる。 ５）　シャープニングの目的と方法を理解する。 ６）　小窩裂溝填塞を実施できる。				

授業計画		
１）	／	ＰＭＴＣ（相互）①ＰＭＴＣ（上顎）
２）	／	②ＰＭＴＣ（下顎）・フッ化物歯面塗布（綿球法）
３）	／	歯周基本検査　プロービング、動揺度、歯石の有無（相互）・シャープニング
４）	／	シックルタイプスケーラー①（相互）基本検査・スケーリング・歯面研磨
５）	／	シックルタイプスケーラー②（相互）基本検査・スケーリング・歯面研磨
６）	／	キュレットスケーリング①（相互）前歯部
７）	／	②　臼歯部
８）	／	①基本検査・超音波スケーリング（前歯）・手用スケーリング・歯面研磨
９）	／	②基本検査・超音波スケーリング（上顎）・手用スケーリング・歯面研磨
１０）	／	後期中間試験
１１）	／	③基本検査・超音波スケーリング（下顎）・手用スケーリング・歯面研磨
１２）	／	④基本検査・エアースケーラー（相互）・手用助スケーリング・歯面研磨
１３）	／	フッ化物急性中毒量の算出・各種フッ化物の取扱い　・う蝕活動性試験
１４）	／	う蝕活動性試験結果より予防プログラムを立案　・シャープニング
１５）	／	小窩裂溝填塞法（模型実習）フッ化物歯面塗布（トレー法）
１６）	／	後期期末試験

成績評価の方法	定期試験の成績（７割）と実習成績（３割）【実技点・提出物・出席状況】で評価。 なお、１００点満点の６０点以上を合格とする。
テキスト	最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導
参考図書	
その他	

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　後期	専門分野	必須	１単位３０時間	授業方法（実習）
科目名	歯科保健指導３				
担当教員	衞藤　里美　（実務経験者）				
	大分歯科専門学校(付属歯科診療所)勤務、現在に至る。				
授業概要	健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術および態度を学びます。				
到達目標	１）　歯科衛生過程を理解し、情報収集ができる ２）　対象者に応じたコミュニケーションがとれる。 ３）　患者の状況に合わせて清掃用具の選択、使用法の指導ができる。 ４）　各ライフステージ別の口腔衛生指導・食生活指導ができる。 ５）　歯科衛生過程の流れに沿って業務記録をまとめることができる。 ６）　対象別の歯科衛生教育ができる。				

授業計画		
１）	／	要介護高齢者への口腔衛生管理　（口腔ケア②）
２）	／	要介護高齢者への口腔衛生管理　①障害状況別口腔ケア方法(座位)
３）	／	障害状況別口腔ケア実習(座位)
４）	／	②障害状況別口腔ケア方法(ファーラ位)
５）	／	障害状況別口腔ケア実習(ファーラ位)
６）	／	③障害状況別口腔ケア方法(側臥位)
７）	／	前期中間試験
８）	／	障害状況別口腔ケア実習(側臥位)
９）	／	④障害状況別口腔ケア方法(洗浄法・保湿)
10）	／	障害状況別口腔ケア実習(洗浄法・保湿)
11）	／	要介護者への口腔機能管理　　摂食嚥下の評価
12）	／	摂食嚥下訓練
13）	／	摂食嚥下訓練相互実習
14）	／	摂食嚥下体操実習
15）	／	摂食嚥下体操実習(発表)
16）	／	前期期末試験

成績評価の方法	定期試験の７０％、実技成績(実技点・レポート、出席状況)３０％で評価する なお、１００点満点の６０点以上を合格とする
テキスト	最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導/障害者歯科学/高齢者歯科学
参考図書	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション
その他	

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　後期	専門分野	必須	１単位１５時間	授業方法（講義）
科目名	栄養・食生活				
担当教員	衞藤　里美　（実務経験者）				
	大分歯科専門学校(付属歯科診療所)勤務、現在に至る。				
授業概要	テキストを用い、人間が生命を維持するために重要な栄養・食生活を理解するために、栄養と食生活に関する基本的知識を学びます。				
到達目標	１）　栄養素の種類とその消化・吸収の基本を説明できる。 ２）　食事摂取基準・エネルギー必要量・基礎代謝を説明できる。 ３）　五大栄養素及び水の役割について説明できる。 ４）　食品の成分と分類及び食品成分表について説明できる。 ５）　ライフステージ別の食生活の特徴、健康との関連を説明できる。				

授業計画			
	１）	／	栄養の基礎知識　１）食生活と栄養 ２）栄養素の消化・吸収
	２）	／	食事摂取基準　１）エネルギー必要量・基礎代謝 ２）日本人の食事摂取基準
	３）	／	栄養素の働き　１）糖質の栄養的意味 ２)たんぱく質の栄養的意味
	４）	／	３）脂質の栄養的意味 ４）ビタミンの栄養的意味 ５）ミネラルの栄養的意味
	５）	／	６）水・食物繊維の栄養的意味 食生活と健康　国民の健康と栄養の現状・望ましい食生活
	６）	／	ライフステージ別の栄養と調理　１）妊産婦 ２）乳幼児 ３）学齢期・青年期
	７）	／	４）成人期 ５）高齢期 ６）有病者
	８）	／	後期期末試験

成績評価の方法	定期試験の成績で評価。なお、定期試験は筆記試験を行い、１００点満点の６０点以上を合格とする。
テキスト	人体の構造と機能２栄養と代謝：全国歯科衛生士教育協議会　監修　医歯薬出版株式会社
参考図書	
その他	

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　後期	専門分野	必須	１単位３０時間	授業方法（実習）
科目名	歯科診療補助実習				
担当教員	甲斐　加代子（実務経験者） 歯科衛生士として大分市内の歯科医院にて勤務し、その後、大分歯科専門学校付属歯科診療所にて勤務。				
授業概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基礎的知識、技術および態度を学びます。				
到達目標	１）　小児の状態把握と対応ができる ２）　矯正用歯科用器材の種類を説明できる ３）　矯正装置の撤去に必要な器具の取り扱いができる ４）　口腔内を観察し口腔内写真の撮影ができる				

授業計画		
	【２年　後期】	
	１）　／	小児歯科①
	２）　／	小児歯科②
	３）　／	筋機能訓練
	４）　／	歯科矯正学①（DBS/その他の矯正器具）
	５）　／	歯科矯正学②実習（器材名称・用途確認実習）
	６）　／	歯科矯正学③実習（器材名称・用途確認実習）判定
	７）　／	**後期中間試験**
	８）　／	歯科矯正学③（全顎印象）マニキン実習
	９）　／	歯科矯正学④（全顎印象）相互実習
	10）　／	
	11）　／	歯科矯正学⑤（模型作製台付け）実習
	12）　／	口腔内写真①（5枚法）
	13）　／	口腔内写真②（5枚法）実習
	14）　／	口腔内写真③（5枚法）実習
	15）　／	口腔内写真④（講評）
	16）　／	**後期期末試験**

成績評価の方法	定期試験の成績(7割)と平常点(3割)≪出欠・態度・レポート提出・実技点等≫で評価。 なお、定期試験は筆記試験を行い、１００点満点の６０点以上を合格とする。
テキスト 授業計画	最新　歯科衛生士教本 ①歯科診療補助論 ②咀嚼障害・咬合異常2　歯科矯正 ③咀嚼障害・咬合異常１　歯科補綴 ④小児歯科 全国歯科衛生士教育協議会　医歯薬出版
参考図書	
その他	

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	２年　後期	専門分野	必須	２単位９０時間	授業方法（実習）
科目名	臨地実習２・後期				
担当教員	臨地実習指導医・指導歯科衛生士				
授業概要	臨地実習では、履修した講義・実習によって修得した基礎的な知識や技術を論理的に整理し、それぞれの現場において歯科衛生士の業務の実践に関わりながら、歯科予防処置、歯科診療補助、保健指導の理解を体系的に深める。 また、歯科医療の現場においてメディカルスタッフの一員としての資質を高め、チーム医療の体制を理解し、患者・スタッフとのコミュニケーション能力を身に付ける。				
到達目標	学内での既習内容を臨床の場で結び付ける事により、歯科衛生士としての役割と業務を理解し、実行することができる。 １）　後期履修科目（臨床科目：小児、口腔外科、矯正、高齢者･障害者歯科） ２）				
授業計画	〈臨地実習〉　後期　２月中旬～３月上旬　（内９日間） 〈幼稚園実習〉　　２月上旬（３日間）				
成績評価の方法	実習指導者の評価、出席状況、実習記録等を総合して評価する				
テキスト					
参考図書					
その他					

2023年度　大分歯科専門学校

基本情報	３年　後期	専門分野	必須	４単位１２０時間	授業方法（演習）
科目名	歯科総合演習				
担当教員	衞藤　里美　（実務経験者）、日野しのぶ（実務経験者） 大分歯科専門学校専任教員、大分歯科専門学校付属歯科診療所歯科衛生士として勤務				
授業概要	歯科衛生士として必要な知識・技能を復習し、求められる基本的な資質の修得および国家資格取得に向け学んでいきます。				
到達目標	１）社会環境と医療現場において、求められる歯科衛生士像を説明できる。 ２）歯科衛生士免許取得に必要な知識・技術が修得できている。 ３）課題について自分の意見を決められた時間内と字数で発表できる。 ３）多職種連携の必要性と歯科衛生士の役割が説明できる。 ４）EBMに基づいた歯科衛生業務について説明できる。				
授業計画	（１）　卒業研究発表（４０時間） １）３年間のまとめとして、研究レポートを作成する。 ２）テーマは臨床実習において学び修得した事項より選択する。 ３）レポートをもとに、研究発表のためのパワーポイントを作製し発表する。 （２）　卒業と国家資格取得に向けた知識・技能の確認と復習（８０時間） １）以下の科目について、試験による確認と、復習を繰り返しおこなう。 ［専門基礎分野］ ①　人体の構造と機能 ②　歯・口腔の構造と機能 ③　疾病の成り立ちおよび回復過程の促進 ④　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み ［専門分野］ ①　歯科衛生士概論 ②　臨床歯科医学 ③　歯科予防処置論 ④　歯科保健指導論 ⑤　歯科診療補助論 専門分野の③～⑤は技能の確認も行う ２）上記科目について、適宜模擬試験を実施する。				
成績評価の方法	実施する模擬試験・実技試験により、随時評価指導をおこなう。				
テキスト	各科目歯科衛生士教本				
参考図書	各科目の参考図書				

その他	